



平成 27 年 4 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆
(コード番号 2372 東証第一部)
問 合 せ 先
役 職 取締役 社長室長
氏 名 谷田 洋平
電 話 03-3264-3148

当社子会社による国立感染症研究所とのエイズ等ワクチン に関する共同研究契約締結のお知らせ

当社の 100%子会社である株式会社 I D ファーマ（以下、「I D ファーマ」という）は、国立感染症研究所（所長 倉根 一郎）とエイズ等感染症ワクチンの研究・開発に関わる共同研究契約を締結しました。本共同研究においては、エイズをはじめ種々の感染症ワクチンの開発を目指します。これらの内容につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 共同研究の内容

I D ファーマは国立感染症研究所と、センダイウイルスベクター^{*1}を用いたエイズ等感染症ワクチンについて、臨床応用を目指した効果的なワクチンの構築と免疫方法の確立を目的とした共同研究契約を締結しました。本共同研究では、I D ファーマのもつウイルスベクターのノウハウと国立感染症研究所のもつ多くの感染症に対するワクチンに関する知見を活かし、センダイウイルスベクターを用いたエイズ等感染症ワクチンについて、臨床応用を想定した抗原の選択・エプトープ解析・免疫誘導実験などの基礎研究を実施するとともに、ワクチンプロトコルを確立することを通じて効果的なワクチンの創出に貢献してまいります。

2. 研究・開発の方向性について

I D ファーマと国立感染症研究所のエイズ研究センター（センター長 俣野 哲朗）は、東京大学医科学研究所とともに、エイズ予防ワクチンの前臨床研究を進めた実績があります。この結果をもとに、I D ファーマは昨年、国際エイズワクチン推進構想（IAVI）^{*2}と共に、センダイウイルスベクターを用いて共同で開発したエイズ予防ワクチンについて、英国、東アフリカ地域のルワンダおよびケニアでその安全性と副作用の有無および免疫反応の誘導能を調べるための臨床試験を実施しています。その解析の途中経過として、本製剤に由来する重篤な副作用がなかったこと、また、本製剤の投与により抗原である Gag 蛋白^{*3}特異的な T 細胞応答^{*4}と抗体産生^{*5}が、他のワクチンとの組み合わせの投与群で観察されたことが報告されました。

国立感染症研究所エイズ研究センターは、世界三大感染症の一つである HIV 感染症の克服に結びつく研究の推進を主目的とし、優れたエイズモデルを構築して HIV 持続感染成立阻止に結びつく免疫機序の解明等の研究を展開しており、わが国のエイズ対策研究において中核的役割を果たしてき

ました。上述のセンダイウイルスベクターを用いたエイズ予防ワクチンについても、東京大学医科学研究所と前臨床研究を進めた実績があります。

これまでのエイズ予防ワクチンについての取り組みと実績をもとに、IDファーマと国立感染症研究所は複数の感染症ターゲットについてのワクチンの開発を目指します。また、日本での治験実施を目指し、エイズ治療ワクチンの臨床開発に取り組みます。このワクチンはこれまでに国立感染症研究所による長年の研究の結果確保された複数のエイズワクチン抗原から、センダイウイルスベクターに搭載する抗原とその遺伝子を選択する段階であり、臨床応用の実現性と迅速性が期待される取り組みとなります。

※1. センダイウイルスベクター

ベクターとは治療用の遺伝子を特定の臓器・組織に運搬し、効果的に標的細胞内へ導入する働きを持つ物質のことです。その中でも、IDファーマが独自に開発した「センダイウイルスベクター」は、従来のベクターとは全く概念が異なるRNAを骨格とするもので、臨床研究や動物実験を通じ安全性の高さが確認されている他、遺伝子医薬品やバイオ製品分野での利用に高い信頼性と実績を有しております。

※2. 国際エイズワクチン推進構想 (IAVI)

IAVIは、安全で有効なHIV予防ワクチンの開発促進とその普及を目指して活動している国際的な非営利・非政府組織です。1996年に設立されたIAVIは、現在24カ国で、国際的なパートナーのネットワークを通じてワクチン候補の研究開発を行っています。IAVIについての詳細は、URL: <http://www.iavi.org> をご覧ください。

※3. Gag 蛋白

HIVのウイルス内部蛋白の一種で粒子形成に関わるものです。免疫誘導のための抗原としても使用されます。

※4. T細胞応答

リンパ球の一種であるT細胞が、免疫応答を促進あるいは抑制したり、病原体等に感染した細胞を直接殺したりする反応のことです。

※5. 抗体産生

異物である抗原に特異的に結合する抗体が産生され、病原体等の異物を体内から排除することです。

3. IDファーマの概要

(1) 商号	株式会社IDファーマ (4月1日にディナベック株式会社から商号変更)
(2) 主な事業内容	遺伝子医薬品、再生医療、 バイオ製品の研究開発と販売等
(3) 設立年月日	平成15年9月5日
(4) 本店所在地	茨城県つくば市大久保6番
(5) 代表者	代表取締役会長 森 豊隆

4. 業績に与える影響

本合意による当期の業績への影響は軽微と見込んでおります。また、当期の業績予想に変更はありませんが、変更が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

以上